

エコアクション21環境経営レポート



第14版

2022年12月1日～2023年11月30日

2023年12月18日発行

株式会社イー・クルーズ

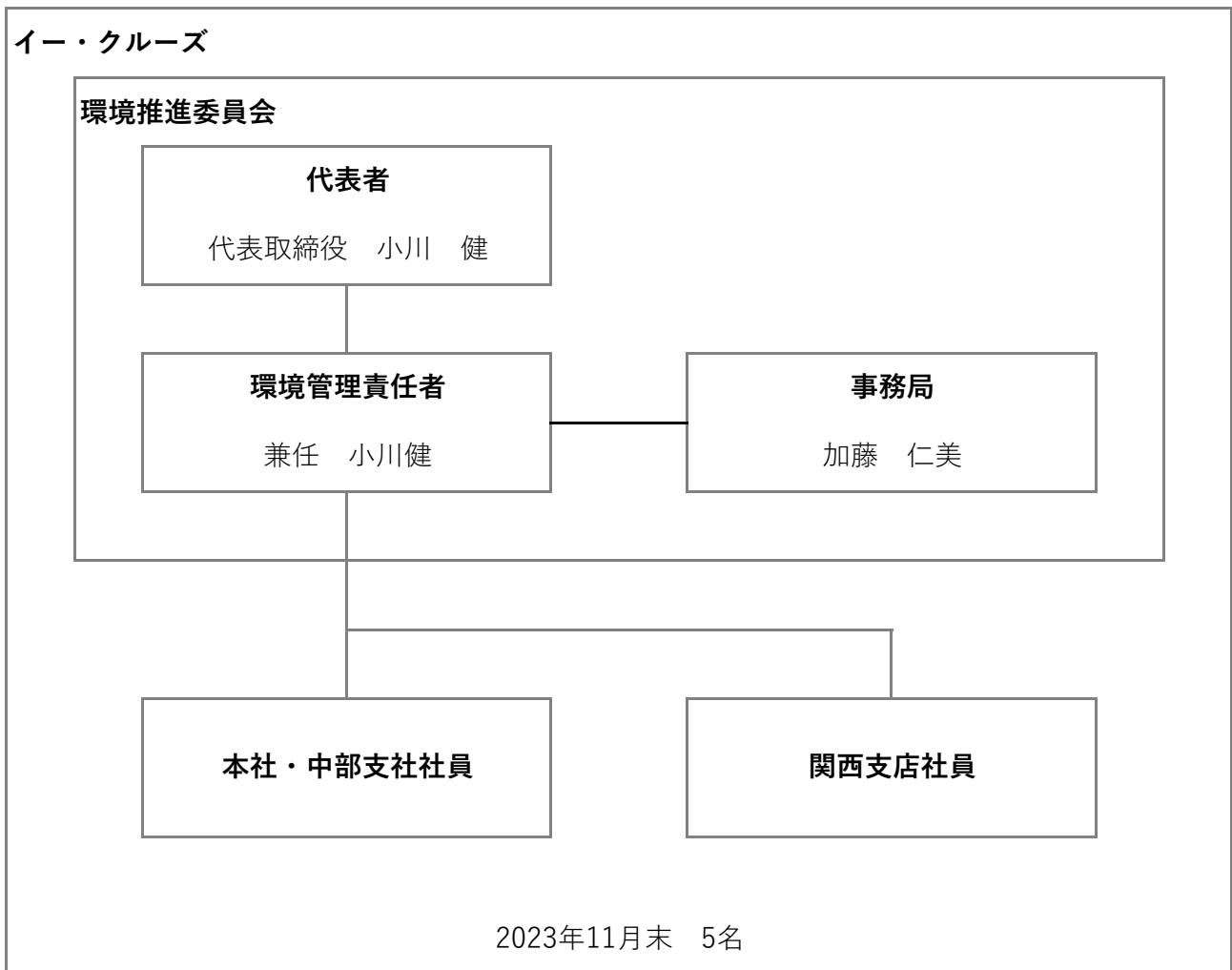
目次

1	組織の概要	1~3
2	対象範囲	4
3	環境経営方針	5
4	環境経営目標	6
5	環境経営計画と取組内容	7
6	環境経営目標の実績と評価	8
6.1	二酸化炭素排出量	9
6.2	電気・ガソリン使用量	10
6.3	水使用量	11
6.4	一般廃棄物排出量	12
7	環境経営取組の結果と評価	13
8	次年度以降の目標と計画	
8.1	環境経営目標	14
8.2	環境取組計画	15
9	環境関連法規の遵守状況	16
10	代表者による全体の評価と見直し・指示	17

1. 組織の概要

事業所名	株式会社イー・クルーズ		
代表者名	代表取締役 小川 健		
所在地	本社／中部支社 〒448-0857 愛知県刈谷市大手町1-11 エクセルKUME5F TEL 0566-24-7701 FAX 0566-24-3233		
	関西支店 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-4-64 新大阪千代田ビル3F TEL 06-6350-1082 FAX 06-6350-1086		
事業内容	コンピューターの販売・保守業務、コンサルティング 設計・入力業務、消耗品販売		
事業規模	売上高	百万円	200（2023年11月決算）
	従業員	人	5
	床面積	㎡	本社／中部支社 73
			関西支店 25
環境管理責任者	小川 健		
事務局	加藤 仁美 TEL 0566-24-7701 FAX 0566-24-3233		

環境経営システム組織図



環境経営システム・役割・責任・権限

代表者	・ 取り組みを実施するための必要な人員、設備、費用等を承認。
	・ 環境目標、活動計画書及び環境レポートの承認。
	・ 環境経営についての方針を定め誓約し全社員へ周知。
	・ 環境管理責任者を任命する。
	・ 全体の取組結果についての評価、改善、変更等に関する必要な指示。
環境管理責任者	・ 取り組みを実施するための必要な人員、設備、費用等を準備する。
	・ 環境活動レポートの確認。
	・ 環境経営システム全体の構築、運用、維持に関する実務上の責任と権限を持つ。
	・ 全体の計画案の作成。
	・ 取り組み状況と結果の見直し。
環境推進委員会	・ 環境への負荷自己チェックと取り組みの自己チェック。
	・ 環境目標、活動計画書の策定及び審議を行う。
	・ 社内教育、訓練の実施および社員からの意見を受け付ける。
事務局	・ 環境管理責任者の実務について、補助的な役割を担う。
	・ 運用についての社員への周知、運用方法詳細伝達。
	・ 環境目標、活動計画書、環境活動レポートの作成。
	・ 環境システムについての事務、データ管理。
全社員	・ 環境システムの重要性を理解し、自覚する。
	・ 環境活動計画書に沿った決定事項について、積極的に取り組む。
	・ 意見がある場合、環境推進委員会へ述べる。

2. 対象範囲

認証・登録の対象範囲

組織名	株式会社イー・クルーズ（全社・全組織）
活動内容	コンピューターの販売・保守業務、コンサルティング 設計・入力業務、消耗品販売
年度期間	前年12月～11月まで
対象期間	2022年12月1日～2023年11月30日（対象年度：2023年）
発行日	第14版 2023年12月18日

経営における課題とチャンス

SWOT分析

強み（目標達成に貢献する企業内部の特質）
コンピューター販売や保守、ITコンサルティングに長けた経験と業務実績
弱み（目標達成の障害となる企業内部の特質）
人手不足と人材不足、次世代交代の移譲難
機会（新規参入の脅威）
経済状況とIT技術革新、新規・中途採用
脅威（目標達成の障害となる外部の特質）
政治と法令、少子高齢化、情報漏洩、ウィルス、不正アクセス

人材採用のチャンス：外部来客対応時に、人材情報の会話で機会を確認。

3. 環境経営方針

基本理念

私たち株式会社イー・クルーズは、コンピューター販売、コンサルティングを中心とした事業活動を通じ、お客様の満足度を追及するとともに、お客様とともに地球環境への負荷の低減に貢献できるよう、スマートな商品やサービスの提供に努めます。

行動指針

- 1 当社に適用する環境関連法規、条例等、及び社内で同意したその他の要求事項を全社員で遵守します。
- 2 企業活動において、下記の項目についての環境負荷削減に取り組みます。
 - 2.1 電気、ガソリン使用量の削減に取り組み、二酸化炭素を削減します。
 - 2.2 節水に努め、水使用量を削減します。
 - 2.3 ゴミの分別方法の見直しとゴミ発生の削減、資源の再利用・削減・再生に努め、廃棄物の排出量を削減します。
 - 2.4 提供するサービス・商品は環境に配慮したものとなる様取り組みます。
 - 2.5 事務用品等の社内消耗品についてグリーン購入を推進します。
- 3 継続的な取り組みと定期的な評価を行うことにより、環境保全を推進します。
- 4 全社員に環境方針を周知し、環境経営システムの継続的改善を推進します。
- 5 環境活動レポートの作成を行い、情報公開を行います。

改訂 2019年1月1日

株式会社イー・クルーズ

代表取締役 小川 健

4. 環境経営目標

本年度2023年（2022年12月～2023年11月）の目標

環境負荷	単位	基準年 2017年	2023年目標	
			目標	削減率
二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	8,564	8,393	2%減
電気使用量の削減	kg-CO ₂	2,820	2,763	8%減
	kWh	5,844	5,376	
ガソリン使用量の削減	kg-CO ₂	5,745	5,630	2%減
	ℓ	2,476	2,426	
水使用量の削減	m ³	17	15	10%減
一般廃棄物の削減	kg	111	109	2%減
用紙購入量の削減	枚	3,000	2,940	
提供するサービス・商品	特に目標値は設定しないが、お客様の業務効率化につながる商品の開発と販売促進に努める。			

一般廃棄物の削減は業務効率化と直結する「コピー用紙の削減」も含め数値目標を設定する。

* 事務所から発生する産業廃棄物は机、テーブル、椅子 等であるがここ数年発生していない。

発生は単発的であり、数値管理はせず、適正な処理・処分とする。

二酸化炭素排出係数は中部電力の2017年度調整後排出係数0.480kg-CO₂ /kWh

2017年度関西電力の調整後排出係数0.493kg-CO₂ /kWh を使用（中部＋関西合算）。

5. 環境経営計画

今年度の取組

取 組 項 目	電機使用量の削減		担当者
	1	帰宅時各自使用パソコンをはじめ、電源OFFの確認	環境管理責任者 事務局
	2	エアコンのフィルター清掃を年2回実施	
	3	エアコンの適温化（冷房28度、暖房20度程度）を徹底	
	4	夏季：外気の取り込みと扇風機の有効活用	
	5	夏季：ブラインド、観葉植物で窓からの熱を防ぐ／冬季：太陽光有効活用	
	6	事務所内照明の蛍光灯本数削減	
	7	事務所内照明を必要エリアに限定	
	8	照明器具の清掃を年2回実施	
	9	節電シール、エアコン適正温度ステッカー、周知掲示で啓蒙活動	
	10	電力使用量記録管理	
	ガソリン使用量の削減		
	1	社有車エコカーの活用	
	2	エコドライブの励行	
	3	ガソリン使用量報告と記録管理	
	水使用量の削減		
	1	節水を呼びかけ節水意識を高める	
	2	水使用量記録管理	
	廃棄物の削減		
	1	ゴミ分別表示の明確化と再利用・削減・再生を踏まえた仕組み ゴミ箱の点検とステッカー掲示・社内周知	
	2	ゴミの重量計量と記録管理	
	3	食事容器等私物一般ゴミの社内破棄は最小限とする	
	4	マイバックの使用を推進、レジ袋をゴミ袋として再利用	
	5	ペットボトル、空き缶の社内破棄は1日1人1本ずつとする	
	6	印刷時、両面・集約機能の活用	
	7	印刷プレビュー機能の活用、印刷ミスに気をつける	
	8	チェック用には、ミスプリント用紙等利用して裏紙を有効活用する	
	その他の取組		
	1	商品配送は可能な限り、メーカーからの直送とする	
	2	商品発送の際、簡易包装とし、梱包箱・梱包材を再利用する	
	3	販売したインク、トナーカートリッジの回収・処理を正確に行う	
	4	環境マネジメントシステム認証取得済み業者より購入	
	5	エコマーク等環境ラベルのついた商品を選択、購入する	
実 画 施 計	上記項目の実施状況は記録表を使い確認する。 事務局は3か月ごとに内容を確認し社員に伝達する。		

6. 環境経営目標の実績と評価

2023年の実績（2022年12月～2023年11月）

削減率：基準年2017年比%

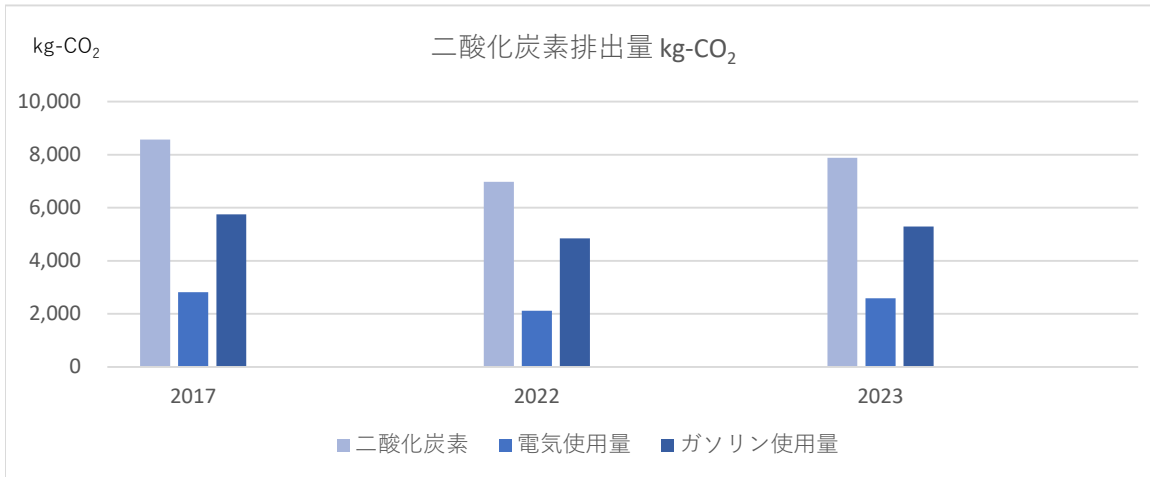
環境負荷	単位	基準年 2017年	2023年目標		2023年実績		評価
			目標	削減率	実績	削減率	
二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	8,564	8,393	2%減	7,877	8%減	◎
電気使用量の削減	kg-CO ₂	2,820	2,763	8%減	2,586	8%減	◎
	kWh	5,844	5,376		5,711		
ガソリン使用量の削減	kg-CO ₂	5,745	5,630	2%減	5,291	8%減	◎
	ℓ	2,476	2,426		2,281		
水使用量の削減	m ³	17	15	10%減	12	29%減	◎
一般廃棄物の削減	kg	111	109	2%減	101	9%減	◎
用紙購入量の削減	枚	3,000	2,940		2,500	17%減	◎

二酸化炭素排出係数は中部電力の2022年度調整後排出係数0.459kg-CO₂ /kWh

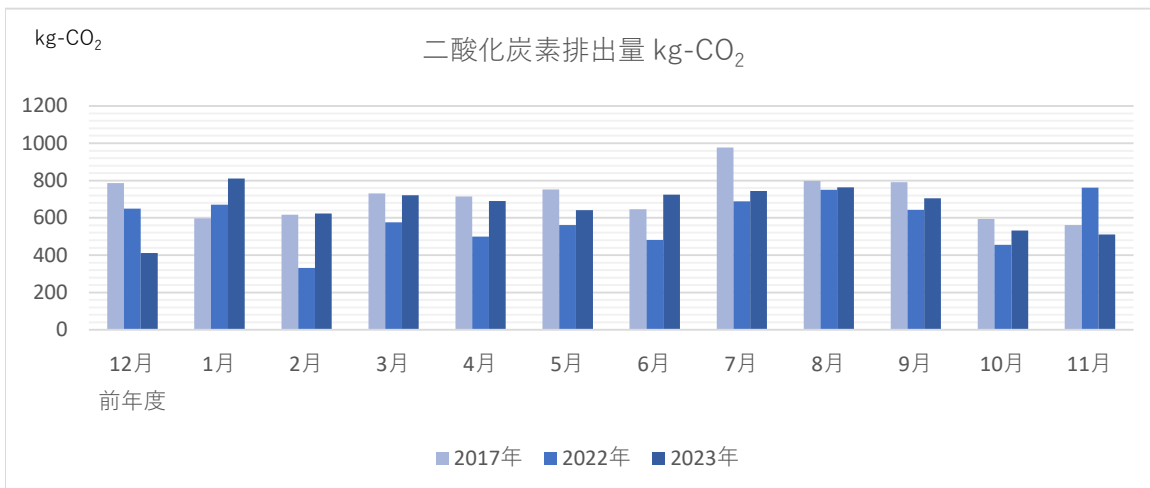
関西電力の2022年度調整後排出係数0.420kg-CO₂ /kWh を使用（中部＋関西合算）

6.1 二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量 年間 電気使用量とガソリン使用量のCO₂換算



二酸化炭素排出量 月間 電気使用量とガソリン使用量のCO₂換算



- ・ 2023年の二酸化炭素の総排出量7,877kg-CO₂でした。[割合：電気使用量33%、ガソリン67%]
基準年2017年との比較では総排出量は8%減、電気使用量8%減、ガソリン使用量8%減でした。
- ・ 2023年の二酸化炭素の総排出量を月度別で見ると、2023年1月～10月増加傾向にありました。
前年2022年と比べ、約13%増加しました。

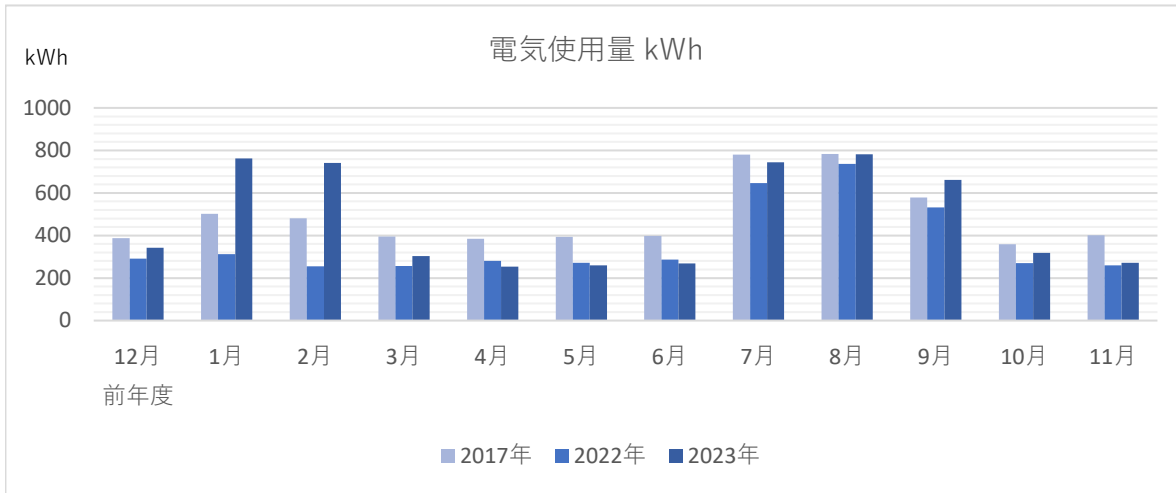
1月～2月の増加は電気使用量。

3月～6月はガソリン使用量、7月～10月にかけてエアコンの使用で増加しています。

増加の要因は、環境構築（サーバリプレイス対応）による電気の使用と、車移動によるガソリンの使用。残暑によるエアコン使用率の増加によるものです。

6.2 電気・ガソリン使用量

電気使用量

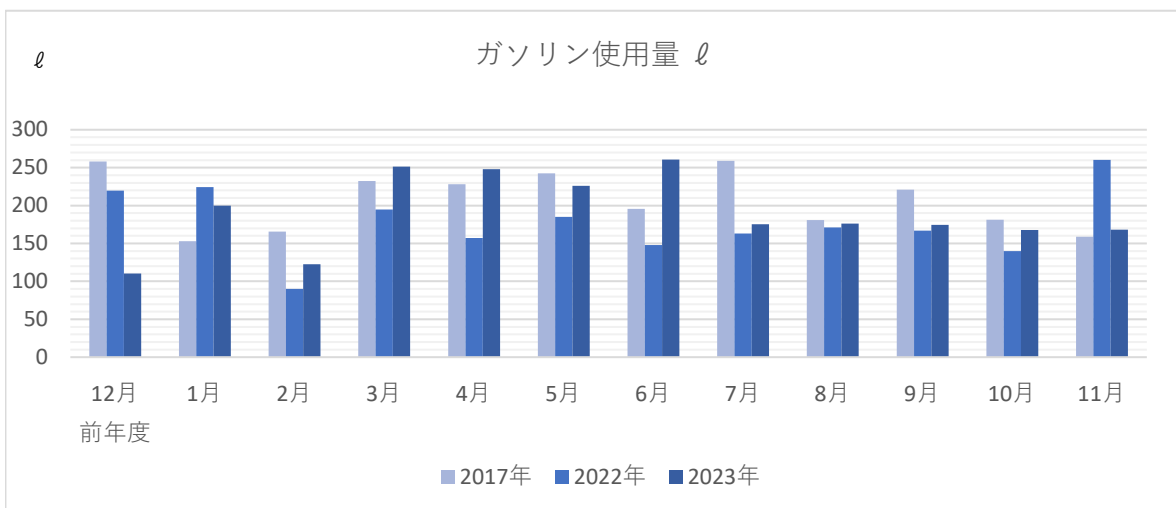


電気使用量の実績に対するコメント：

2017年度の電気使用量5,844kWhに対して、2023年度では5,711kWhで8%減でした。

- ・【従量電灯使用量の増加】2022年12月～2023年3月（主に1月～2月の間の増加）、11月
取引先への環境構築（サーバリプレイス対応）の為、電気使用量が増加しました。
11月は残業による増加です。期間内の増加は一時的なものになります。
- ・【低圧電力使用量の増加】2023年7～10月（夏季）
エアコンの使用量増加によるものです。残暑が10月まで続き、例年より増加しました。
- ・【電気使用量の低下】2023年4～6月
パソコンの稼働が減少し、前年度より下回りました。

ガソリン使用量

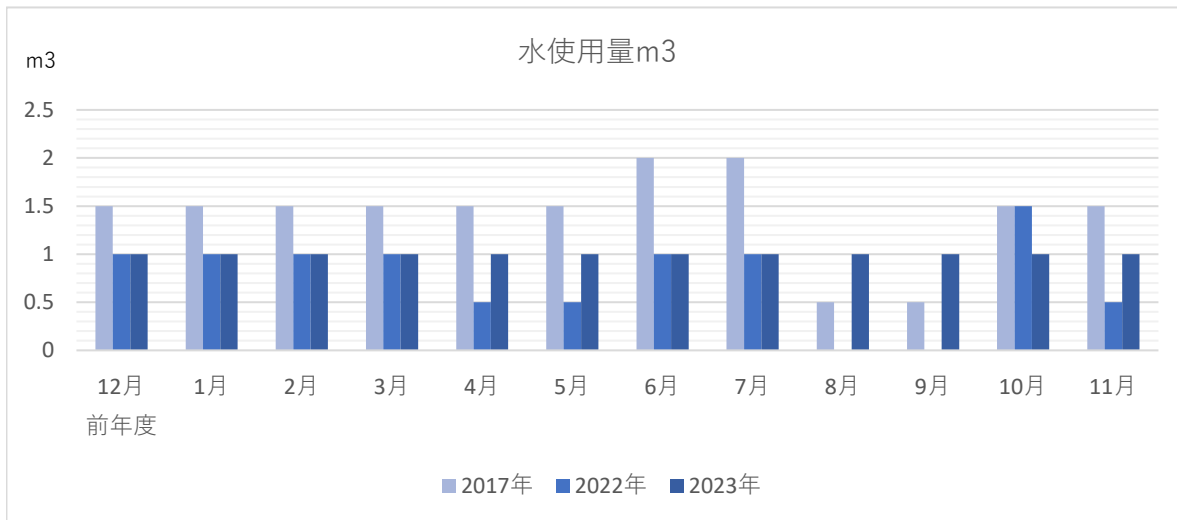


ガソリン使用量の実績に対するコメント：

2017年度のガソリン使用量2,476ℓに対して、2023年度では2,281ℓで8%減でした。

- ・【使用量の増加】2023年1月～2023年11月
取引先の遠距離移動の頻度が多く発生しました。
1月～6月にかけて、客先の環境構築（サーバリプレイス対応）が含まれます。
- ・【使用量の低下】2022年12月
取引先の遠距離移動の頻度が特に発生していない為、前年度より下回りました。

6.3 水使用量



水使用量の実績に対するコメント：

2017年度の水使用量17m3に対して、2023年度では12m3で約29%減でした。

必要最低限（手洗い、洗面、排水、給湯利用程度）の一般使用量です。

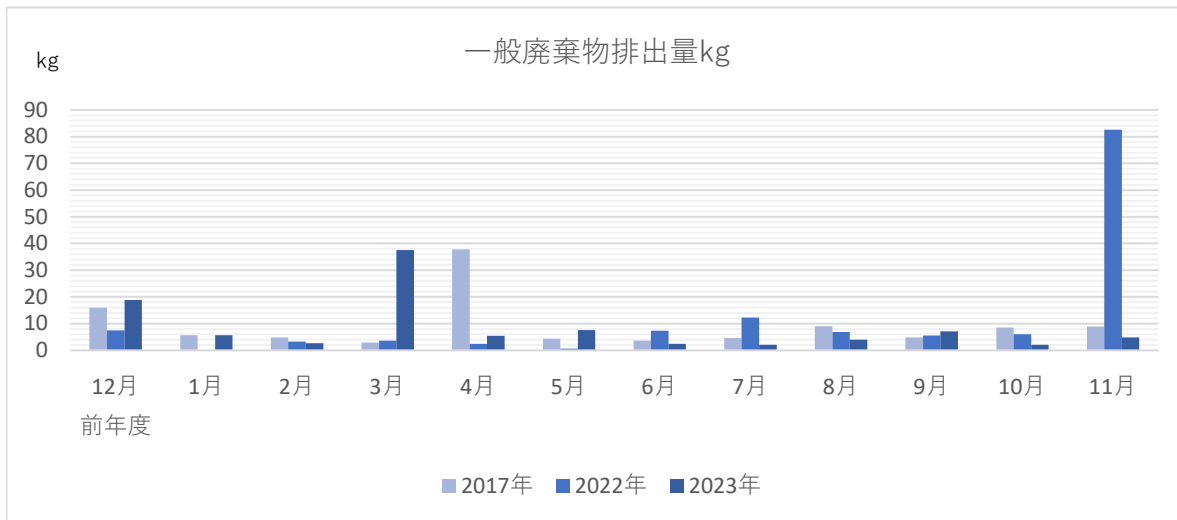
ひと月1m3x12か月=12m3なので、平均的な使用量です。

・【水使用量の増加】2022年4～5月、8～9月

4～5月：観葉植物を植替える為の手入れと、植木鉢の清掃で水使用量が増加しました。

8～9月：室内清掃掃除による水使用で増加しました。

6.4 一般廃棄物排出量



一般廃棄物排出量の実績に対するコメント：

2017年度の廃棄量111kgに対して、2023年度では101kgで約9%減でした。

前期2022年11月は期末清掃（11月）により一時的に増加しています。（割合：古紙45%、不燃50%）

- ・【一般廃棄物排出量の増加】2022年12月、2023年3～5月、9月（主に12月、3月）
主に古紙の廃棄です。一時的の増加になります。

2022年12月の増加は、年末清掃による廃棄です。

→廃棄物比率：可燃17%、ビニール・プラ3%、古紙80%

2023年3月の増加は、環境構築（サーバリブレイス対応）による清掃の廃棄です。

→廃棄物比率：可燃10%、ビニール・プラ5%、古紙85%

- ・【一般廃棄物排出量の低下】2023年2月、6月～8月、10月～11月
廃棄物排出量が少ない場合、翌月に跨ぎ廃棄している為、前年より低下している月が発生しています。

7. 環境経営取組の結果と評価

今年度の取組

取組項目	電機使用量の削減		実施結果と評価 ◎優 ○良 △可
	1	帰宅時各自使用パソコンをはじめ、電源OFFの確認	○
	2	エアコンのフィルター清掃を年2回実施	○
	3	エアコンの適温化（冷房28度、暖房20度程度）を徹底	△
	4	夏季：外気の取り込みと扇風機の有効活用	○
	5	夏季：ブラインド、観葉植物で窓からの熱を防ぐ／冬季：太陽光有効活用	○
	6	事務所内照明の蛍光灯本数削減	○
	7	事務所内照明を必要エリアに限定	○
	8	照明器具の清掃を年2回実施	○
	9	節電シール、エアコン適正温度ステッカー、周知掲示で啓蒙活動	△
	10	電力使用量記録管理	◎
	ガソリン使用量の削減		
	1	社有車エコカーの活用	○
	2	エコドライブの励行	△
	3	ガソリン使用量報告と記録管理	○
	水使用量の削減		
	1	節水を呼びかけ節水意識を高める	○
	2	水使用量記録管理	○
	廃棄物の削減		
	1	ゴミ分別表示の明確化と再利用・削減・再生を踏まえた仕組み ゴミ箱の点検とステッカー掲示・社内周知	○ ○
	2	ゴミの重量計量と記録管理	○
	3	食事容器等私物一般ゴミの社内破棄は最小限とする	○
	4	マイバックの使用を推進、レジ袋をゴミ袋として再利用	○
	5	ペットボトル、空き缶の社内破棄は一日一人1本づつとする	○
	6	印刷時、両面・集約機能の活用	○
	7	印刷プレビュー機能の活用、印刷ミスに気をつける	○
	8	チェック用には、ミスプリント用紙等利用して裏紙を有効活用する	○
	その他の取組		
	1	商品配送は可能な限り、メーカーからの直送とする	○
	2	商品発送の際、簡易包装とし、梱包箱・梱包材を再利用する	○
	3	販売したインク、トナーカートリッジの回収・処理を正確に行う	○
	4	環境マネジメントシステム認証取得済み業者より購入	○
	5	エコマーク等環境ラベルのついた商品を選択、購入する	○
コメント	取組のうち実績値を数値化できるものは月度実績値をグラフ化し、前年度との比較なども行い「見える化」を実施し社員の意識、取組などの充実につながった。個別の項目については「8. 代表者による全体評価と見直し、指示」のページで述べる。取組内容でよかったものについては次年度も継続する。		

8. 次年度以降の目標と計画

8.1 環境経営目標

次年度以降の短期、中期の環境経営目標

* 2024年：2023年12月～2024年11月

環境負荷	単位	年度基準値 2017年-2023年の 実績値ベース＊	次年度	中期目標		
			2024年	2025年	2026年	2027年
		年度基準値比削減率	-1%	-2%	-3%	-4%
二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	8,150	8,069			
電気使用量の削減	kg-CO ₂	2,550	2,525			
	kWh	5,620	5,564			
ガソリン使用量の削減	kg-CO ₂	5,600	5,544			
	ℓ	2,820	2,792			
水使用量の削減	m ³	12	12			
一般廃棄物の削減	kg	85	84			
用紙購入量の削減	枚	2,500	2,500（-7.5%）			

- ・年度基準値は2017年度から2021年度の実績値をベースに設定した。

8.2 環境取組計画

次年度の取組計画（基本的には今までの活動を踏襲するが、重点項目には◎をつけた）

取 組 項 目	電機使用量の削減		重点項目	担当者
	1	帰宅時各自使用パソコンをはじめ、電源OFFの確認	○	環境管理責任者 事務局
	2	エアコンのフィルター清掃を年2回実施		
	3	エアコンの適温化（冷房28度、暖房20度程度）を徹底		
	4	夏季：外気の取り込みと扇風機の有効活用	○	
	5	夏季：ブラインド、観葉植物で窓からの熱を防ぐ／冬季：太陽光有効活用	○	
	6	事務所内照明の蛍光灯本数削減		
	7	事務所内照明を必要エリアに限定		
	8	照明器具の清掃を年2回実施		
	9	節電シール、エアコン適正温度ステッカー、周知掲示で啓蒙活動	○	
	10	電力使用量記録管理	◎	
	ガソリン使用量の削減		重点項目	担当者
	1	社有車エコカーの活用		環境管理責任者 事務局
	2	エコドライブの励行		
	3	ガソリン使用量報告と記録管理	◎	
	水使用量の削減		重点項目	担当者
	1	節水を呼びかけ節水意識を高める		環境管理責任者 事務局
	2	水使用量記録管理	◎	
	廃棄物の削減		重点項目	担当者
	1	ゴミ分別表示の明確化と再利用・削減・再生を踏まえた仕組み ゴミ箱の点検とステッカー掲示・社内周知		環境管理責任者 事務局
	2	ゴミの重量計量と記録管理	◎	
	3	食事容器等私物一般ゴミの社内破棄は最小限とする		
	4	マイバックの使用を推進、レジ袋をゴミ袋として再利用		
	5	ペットボトル、空き缶の社内破棄は一日一人1本づつとする		
	6	印刷時、両面・集約機能の活用	◎	
	7	印刷プレビュー機能の活用、印刷ミスに気をつける		
	8	チェック用には、ミสปリント用紙等利用して裏紙を有効活用する	◎	
	その他の取組		重点項目	担当者
	1	商品配送は可能な限り、メーカーからの直送とする	◎	環境管理責任者 事務局
	2	商品発送の際、簡易包装とし、梱包箱・梱包材を再利用する		
	3	販売したインク、トナーカートリッジの回収・処理を正確に行う		
	4	環境マネジメントシステム認証取得済み業者より購入		
	5	エコマーク等環境ラベルのついた商品を選択、購入する		
実施計画	上記項目の実施状況は記録表を使い確認する。 事務局は3か月ごとに内容を確認し社員に伝達する。			

9. 環境関連法規などの遵守状況

- ・ 当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りです。
- ・ 2023年6月30日遵守評価の結果、これらへの違反はありませんでした。
- ・ なお、関係当局より違反等の指導や指摘は過去3年間ありません。

主な関連法規	確認内容	遵守 評価	チェック日
廃棄物処理法	【第3条】 事業者は事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任で適正に処理しなくてはならない。 廃棄物処理業者との適正契約、マニフェスト（管理票）の適正管理を実施。 【県条例】 廃棄物処理業者の事業活動内容の確認。	○	2023年6月30日
資源有効利用促進法	不要となったパソコンのユーザーはメーカーへ回収を申込、再資源化に協力しなくてはならない。（適正処理・処分）	○	2023年6月30日
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機の家電4品目はメーカーの回収ルートにのせ適正処理しなくてはならない。	○	2023年6月30日
フロン排出抑制法、 改正フロン排出抑制法	エアコン室外機はその圧縮機能力に応じ簡易点検（全て、3か月に1回）、定期点検（7.5kW以上50kW以下、3年に1回）を実施し記録しなくてはならない。（弊社はテナント、大家様の案件） 業務用エアコン、冷凍冷蔵庫の機器廃棄時の行程管理表の交付・保存・記載の義務。機器点検記録簿は機器廃棄後3年間保存しなければならない。（弊社はテナント、大家様の案件）	○	2023年6月30日

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年12月18日 小川 健

取組項目別の評価とコメント (以下基準年2017年をベースとしたコメント)	
1 電力・ガソリン使用量削減による二酸化炭素排出削減	・基準年2017年度に比べ二酸化炭素の削減使用量が約8%減でした。電力使用量が約8%減、ガソリン使用量が約8%減です。 ・事務所内の各電源について未使用時、帰宅時のOFFの徹底を行いました。 ・パソコンの電源管理の徹底、夏場、冬場のエアコンの適切使用を心掛けました。 ・削減使用量は、基準年と比べ削減出来ていますが前年より増加しました（約13%増） ・電気使用量については、取引先の環境構築作業（パソコンの稼働台数増加）で一時的に増加しました。残暑の影響でエアコン使用率が上がり、前年より増加しました。 ・ガソリン使用量については、前年より増加しました。取引先の環境構築作業の移動によるものです。遠距離の移動が無い月別では、使用量が低下しています。 ・ハイブリッド車の活用や、エコドライブを心掛けて実地しております。
2 廃棄物排出量の削減	・基準年2017年度に比べ一般廃棄物排出量が約9%減。前期2022年の期末清掃（11月）による一時的増加（割合：古紙45%、不燃50%）は軽減しましたが、12月、3月が一時的に増加しました。取引先の環境構築作業によるものです。（割合：可燃約10%上、ビニール・プラ3%上、古紙80%上）
3 水使用量の削減	・基準年2017年度に比べ約29%減です。水道使用量はわずかです。
4 コピー用紙使用量の削減	・基準年2017年度に比べ約17%減です。営業向けの印刷が減少傾向です。印刷ミスの裏紙で、コピー用紙の再利用を常に心掛けています。
5 提供するサービスについて	・商品発送については、環境負荷やコストに配慮し、可能な限り直送納品手配をしました。引き続き、取引客先にとっての最善策を考え、サービスの提供を行います。
全体コメント	
・全体的に昨年2021年と比べ増加しました。取引先への環境構築（サーバリプレイス対応）によるものです（一時的な増加）基準年2017年比較では削減出来、目標を達成しています。 ・環境方針、環境取組などの運営・実施体制は現状を継続します。 ・目標は身の丈にあったものとすべく次年度以降、データを整理し基準を変更します。 ・各種環境の結果・実績値は、極力グラフ化し社員全員で共有し、常に環境に配慮した行動につながるよう努めます。エコアクション21の活動を通じ社員からの改善アイデア等も吸収し、積極的に採用していきます。	



<http://www.ecruise.co.jp/>

株式会社イー・クルーズ

本社・中部支社	〒448-0857	愛知県刈谷市大手町1-11 エクセルKUME 5F
		TEL(0566)24-7701 FAX(0566)24-3233
関西支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原4-4-64 新大阪千代田ビル 3F
		TEL(06)6350-1082 FAX(06)6350-1086